

第39回関市民元旦サッカー大会 大会規定

- 1 大会規則 2023/2024 日本サッカー協会規定ルールによる。
- 2 試合方法 各種別ともトーナメント方式または、リーグ戦。
- 3 申し合わせ事項
 - (1) 試合球は、各チームで準備すること。（公認球）
 - (2) 用具については安全性が確認できるものとする。
 - ① ユニフォームについては、参加選手はすべてサッカー・ユニフォーム着用を原則とするが、ユニフォームの無いチームは、サッカー競技に支障の無い服装であれば出場を認める。（ビブスは事務局にて準備する）
 - ② シューズについては、サッカーシューズを原則とする。
 - ③ すねあてを着用すること。
 - ④ 装身具の着用は認めない。
 - (3) 審判は、必ず審判員有資格者が務めるものとする。試合当日、審判員有資格者は審判員証を会場主任に提示すること。申し込み時に登録した審判しか認めない。すべての審判が審判服を着用すること。副審のスパイク着用は禁止する。
 - (4) 選手交代については、交代人数を9名以内とすること。ただし、シニアの部、中学生の部及び小学生の部については自由とし、再出場可とする。
 - (5) 各部門の組み合わせについては、代表者会議にて決定する。1月1日に3位決定戦・決勝戦を行う。
 - (6) 退場処分（1試合中にレッドカードまたはイエローカード2回）を受けた選手またはチーム役員は、次の試合に出場できない。
イエローカードの提示を1度のみ受けた時、このカードは次の試合には持ち越さない。
 - (7) 大会中に発生した傷害及び事故の処理については、個人またはチームの責任において行う。

(8) 試合終了後、全員でグラウンドの整備を行い、ゴミ等は各自で持ち帰ること。

4 試合規定

(1) グラウンド準備

- ・一般・シニア・中学の部におけるグラウンド準備は、試合開始1時間30分前から第1試合の両チームで行う。グラウンド整備は、最終試合の両チームで行う。
- ・小学生の部におけるグラウンド準備は、試合開始1時間前から当該クラスに参加する全団から4名ずつ出席して行う。グラウンド整備も同様とする。

(2) 審判

- ・審判については、一般の部・シニアの部・中学生の部・小学生Aクラスについては3審で行い、小学生B～Eクラスについては3審が望ましいが、1審でも可とする。

(3) 天候不順時、試合続行が不可能な場合の中断・中止について

- ・前半の途中で中止の場合は、再試合とする。
- ・前半が終了していれば試合成立とする。引分けで、トーナメント等のため勝敗を明らかにしなければならない場合は、コイントスにより決定する。
- ・天候不順による試合中止については、審判団・両チーム監督の協議のもと決定する。

(4) 各部門の試合時間等については、下記のとおりとする。

() 内はハーフタイム時間

部 門	試合時間	同点の場合
一般	30分ハーフ (10分)	PK (3人)
シニア	20分ハーフ (10分)	PK (3人)
中学生	30分ハーフ (5分)	PK (3人)
小学生 A～D	15分ハーフ (5分)	PK (3人)
小学生 E	10分ハーフ (5分)	PK (3人)

※決勝戦でも延長戦は行いません。

※ テレホンサービス：天候等で中止の場合のみ、お知らせします。

0575-23-7752 午前7：45以降にご確認ください。